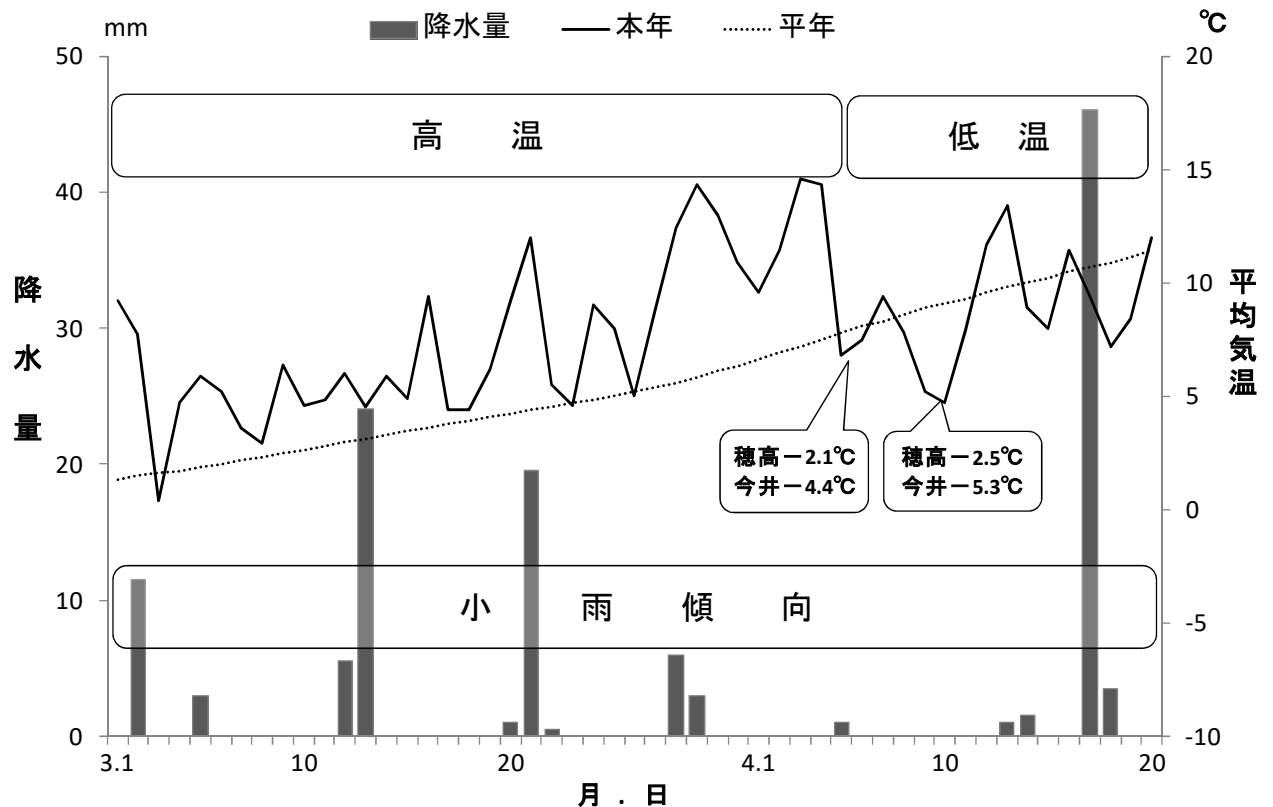


# 令和3年 作物技術普及情報 第5号

## (麦の生育状況、水稻育苗管理について)

令和3年 気象経過(穂高アメダス 3月1日～4月20日)



### 1 気象状況

3月は高温傾向でしたが、4月に入ると天候は一転し、低温傾向が続いています。特に4月6日、4月9～10日の早朝に最低気温が $-5^{\circ}\text{C}$ 前後(松本今井アメダス)と、著しい低温を記録しています。

### 2 麦の生育状況

○4月20日現在、生育の良好な圃場の現在の生育ステージは、以下の通りです。播種時期の早い大麦は出穂が始まりました。

- 【大麦】 止葉展開期～出穂期  
(出穂期は4月20日～4月27日頃を見込んでいます)
- 【小麦】 止葉1枚下の葉の展開期～止葉抽出期  
(出穂始めは4月末からを見込んでいます)

生育は7日程度進んでいますが、4月上旬の低温により、生育は遅れてきた模様です。

今後、平年並みの気象状況で生育が進んだ場合、10月中に播種された圃場では、大麦の成熟期は5月末頃から、小麦の成熟期は6月20日頃から迎えると推定されますので、コンバインや乾燥施設の稼働準備を早めに進めるようお願いいたします。

4月末より積算気温による成熟期の推定を開始しますので、施設の稼働準備や収穫の目安にご活用ください。

成熟期の推定には、出穂期の把握が重要なので、担当される地区の出穂期を把握していただくよう、お願いいたします。

#### (1) 麦の凍霜害、うどんこ病の発生について

- 4月6日前後、4月10日前後の低温により、葉先枯、葉先の黄化、株の生育抑制、幼穂枯死などの凍霜害が発生しています。  
センターの調査では、幼穂枯死の多い圃場が確認されています。

凍霜害の程度が明らかになるのは出穂後になりますので、今後の生育状況を巡回等で確認していただき、特に黄化が目だつ圃場は注意いただくようお願いいたします。

- うどんこ病が発生している圃場が増えていきます。多発している圃場もあり、うどんこ病により黄化を伴う下葉枯れも目立ちます。

4月19日付で「病害虫発生予察地区報 第1号」が出されました。播種時期が早く、過繁茂な圃場では発生状況を確認の上、地区報第1号に記載されている対策の実施をお願いいたします。

## (2) 麦の追肥作業について

○ゆめきらり等のめん用小麦は、今週末から追肥適期を迎えると思われます。追肥量・追肥時期の注意点は技術情報4号をご覧ください。

○凍霜害の目立つ圃場は穂数が少なく、基準以上にタンパクが高くなることが予想されます。このため凍霜害の目立つ圃場では追肥量を減らす対応をお願いします。

注) 一施肥二鳥や追肥一発肥料を使用した圃場は追肥は不要です。

## 2 水稻の育苗の管理

- ・ 育苗作業が本格化しています。これから育苗ハウス内は高温となりやすい時期です。向こう1か月の予報でも、平均気温は平年並みか高いと予想されています。

高温によるヤケやムレ苗を防ぐため、ハウス内の換気を十分行うよう、ご指導をお願いします。